



第119期 中間報告書

2022年4月1日～2022年9月30日



レイズネクスト株式会社

証券コード：6379

幅広い事業領域のプラントに対応するメンテナンスとエンジニアリングで事業の発展に貢献します

企業理念

産業インフラを支える。豊かな未来を拓く。

- 安全で安定的なプラントの操業を支え、人、暮らし、環境の未来に貢献します。
- メンテナンスとエンジニアリングによって、プラントおよび設備の最適化を実現します。
- 多様性・自主性を尊重し、従業員・パートナー企業の幸せを追求します。

長期ビジョン RAIZNEXT Group V-2032

変革の時代に、進化したプラントサービスを

- エネルギーに携わる企業としての社会的責任を全うし、カーボンニュートラル社会の実現に貢献します。
- 常に最新の技術を導入・洗練し、メンテナンス・エンジニアリングの両輪でパートナー企業と共に最大限の顧客価値を提供し続けます。
- 人々の暮らしを支えるプラントの安定稼働を守る柱であるというプライドを持ち、従業員がやりがいをもって働くことのできる会社を目指します。

行動指針

進取果敢

既存の枠組みに捉われず
新しい発想で積極的に
挑戦します。

誠心誠意

お客様によりそい
一つひとつの仕事に
心を込めて取り組みます。

共存共栄

関係する全ての人を尊重し
ステークホルダーとともに
発展します。

企業体質の強化と安定的な
経営基盤の構築を図り、
“持続的な企業成長”を目指します。

代表取締役社長
社長執行役員

毛利 照彦



■ ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第119期中間期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。何卒、ご高覧いただきたくお願い申し上げます。

■ 当中間期事業環境について

当第2四半期連結累計期間(2022年4月1日～2022年9月30日)における国内経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに持ち直しています。他方、世界的な金融引締め等が続き、海外景気の下振れが国内景気を下押し

するおそれと、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等のリスクが懸念される状況となっております。

当社グループにおきましては、受注高は、メンテナンス分野では日常保全工事や定期修理工事の受注が堅調に推移し、前期比で微増となりました。また、エンジニアリング分野では大型工事の受注などにより、前期比で増加しました。完成工事高は、メンテナンス分野では定期修理工事などの減少により、前期比で減少しましたが、

エンジニアリング分野では改造工事などの増加により、前期比で増加しました。

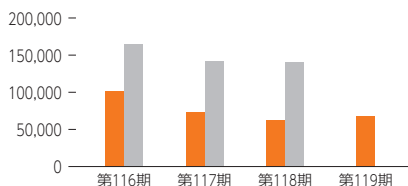
当第2四半期連結累計期間における業績は、受注高675億71百万円(前期比8.8%増)、完成工事高687億47百万円(前期比2.0%増)、営業利益54億97百万円(前期比2.3%減)、経常利益57億21百万円(前期比0.7%減)、親会社株主に帰属する中間純利益39億68百万円(前期比14.2%増)となりました。

連結業績の推移

■ 中間期 ■ 通期

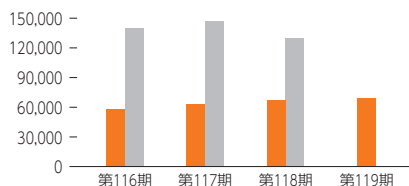
受注高

(単位:百万円)



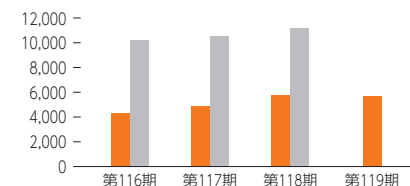
完成工事高

(単位:百万円)



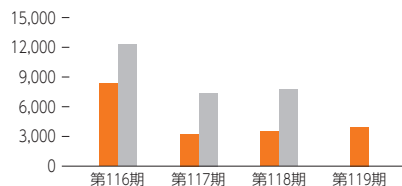
経常利益

(単位:百万円)



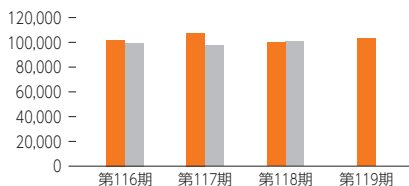
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益

(単位:百万円)



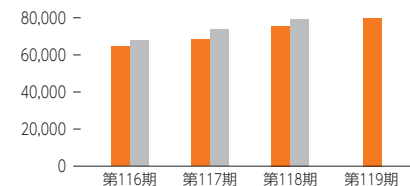
総資産

(単位:百万円)



純資産

(単位:百万円)



サステナビリティ経営について

—10年先、20年先のレイズネクストを見据えて—

サステナビリティ経営における、
環境(E: Environment)、社会(S: Social)、ガバナンス(G: Governance)の取り組み例

E Environment 環境



環境問題の解決に向けた
取り組み

- CO₂排出の削減
- 再生可能エネルギーの活用
- 廃棄物対策 等

S Social 社会



企業に関わる全ての人に
配慮した取り組み

- 人権尊重
- 社会貢献活動
- 安全、品質の確保
- 働き方の多様化

G Governance ガバナンス



公正で透明性のある
体質構築のための取り組み

- コーポレートガバナンス・コード対応
- 遵法状況点検
- リスクマネジメント
- 情報セキュリティ
- 事業継続計画 (BCP)

当社では、「サステナビリティ基本方針」を策定し、「企業理念」のもとに、健全で透明性の高い経営と社会・環境に調和した事業活動を行うことが、社会と会社の持続的成長につながると考えています。

サステナビリティ 基本方針

レイズネクストグループは、「産業インフラを支える。豊かな未来を拓く。」という企業理念のもと、健全で透明性の高い経営と社会・環境に調和した事業活動を通じて、ステークホルダーの皆さまの信頼をより確かなものにするとともに、社会の持続的発展への貢献と中長期的な企業価値の向上を図るため、積極的にサステナビリティへの取り組みを推進します。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当中間期末 2022年 9 月30日現在	前期末 2022年 3 月31日現在
資 産 の 部		
流 動 資 産	80,589	78,379
固 定 資 産	22,589	22,401
有 形 固 定 資 産	14,654	14,713
無 形 固 定 資 産	1,535	1,251
投資その他の資産	6,399	6,435
資 産 合 計	103,178	100,781
負 債 の 部		
流 動 負 債	20,658	19,180
固 定 負 債	2,570	2,258
負 債 合 計	23,228	21,438
純 資 産 の 部		
株 主 資 本	76,485	75,659
資 本 金	2,754	2,754
資 本 剰 余 金	11,845	11,845
利 益 剰 余 金	61,887	61,060
自 己 株 式	△0	△0
その他の包括利益累計額	2,699	2,904
その他有価証券評価差額金	1,049	1,169
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	13	—
為 替 換 算 調 整 勘 定	81	30
退職給付に係る調整累計額	1,555	1,703
非支配株主持分	764	778
純 資 産 合 計	79,950	79,342
負 債 ・ 純 資 産 合 計	103,178	100,781

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月30日	前中間期 自 2021年 4 月 1 日 至 2021年 9 月30日
完 成 工 事 高	68,747	67,382
完 成 工 事 原 価	59,692	58,448
完 成 工 事 総 利 益	9,054	8,934
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	3,557	3,309
営 業 利 益	5,497	5,624
営 業 外 収 益	234	182
営 業 外 費 用	10	42
経 常 利 益	5,721	5,764
特 別 利 益	169	0
特 別 損 失	6	0
税金等調整前四半期純利益	5,885	5,764
法 人 税 等	1,905	2,241
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	48
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,968	3,474

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当中間期 自 2022年 4 月 1 日 至 2022年 9 月30日	前中間期 自 2021年 4 月 1 日 至 2021年 9 月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,296	△3,094
投資活動によるキャッシュ・フロー	△525	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,106	1,989
現金及び現金同等物に係る換算差額	68	37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,266	△1,099
現金及び現金同等物の期首残高	12,835	6,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,568	5,586

概 要

- 商 号 レイズネクスト株式会社
RAIZNEXT Corporation
- 本社所在地 〒231-0062 横浜市中区桜木町一丁目1番地8
- お問合せ先 045-415-1111 (代表)
- 設 立 1938年(昭和13年)7月20日
- 資 本 金 2,754,473,003円
- 上場取引所 東京証券取引所 プライム市場
- 従 業 員 数 連結 2,047名 単体 1,632名

役 員

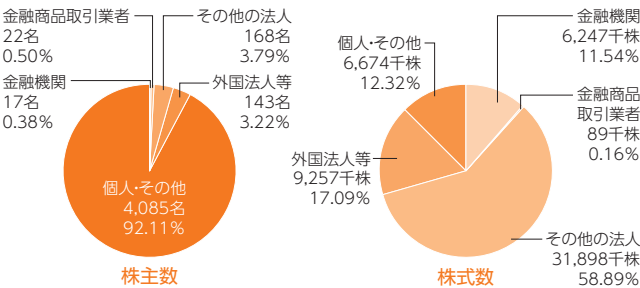
- | | |
|----------------|---------|
| 代表取締役会長 | 野 呂 隆 |
| 代表取締役社長 社長執行役員 | 毛 利 照 彦 |
| 取締役副社長 副社長執行役員 | 福 久 正 毅 |
| 取締役 常務執行役員 | 山 内 弘 人 |
| 取締役 常務執行役員 | 上 田 秀 樹 |
| 社外取締役 | 伊 佐 範 明 |
| 取締役 (監査等委員) | 黒 澤 健 治 |
| 社外取締役 (監査等委員) | 佐 分 紀 夫 |
| 社外取締役 (監査等委員) | 水 地 啓 子 |
| 社外取締役 (監査等委員) | 西 田 まゆみ |

- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数 54,168,053株 (自己株式836株含む)
- 株 主 数 4,435名 (前期末比68名減)
- 大 株 主

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
ENEOSホールディングス株式会社	11,658	21.52
株式会社UHPartners 2	4,904	9.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,195	7.75
光 通 信 株 式 会 社	4,054	7.49
株 式 会 社 N I P P O	3,882	7.17
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	3,111	5.74
株式会社UHPartners 3	1,823	3.37
株 式 会 社 エ ス ア イ エ ル	1,354	2.50
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	1,264	2.33
レイズネクスト取引先持株会	1,167	2.15

※持株比率は、自己株式 (836株) を控除して計算しております。

● 所有株数別株式分布状況



決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月中
基 準 日	定時株主総会については 3月31日といたします。 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月31日および中間配当を実施するときは9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電 話 問 合 せ および郵便物送付先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 の 方 法	電子公告といたします。 但し、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法といたします。
単 元 株 式 数	100株

会社法改正により
2023年3月以降の株主総会から
株主総会資料の電子提供制度が
開始されます。

リーフレットを同封しておりますので、
詳細につきましてはそちらをご参照ください。

Webサイトのご紹介

当社ウェブサイトでは、会社案内、事業紹介、株主・投資家情報など、各ページにおいて、当社に関する情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

● [トップページ](#)



●株主・投資家情報



最新のIR資料や、決算短信・決算説明資料・有価証券報告書等のより詳細な財務情報を掲載しております。



レイズネクスト

检索

<https://www.raiznext.co.jp>

